

概要

本プロジェクトでは、被害情報や災害対応記録などを効率的にデータベース化することにより、災害対応における効果的な利活用を実現するとともに将来への教訓を引き出す基礎データとして蓄積することを目的とする。

具体的には、多様な媒体・様式を介して集まってくる防災情報に対し、自然言語処理等の技術を活用し、これを構造化する作業を支援、効率化する仕組みを構築する。これにより、災害対応現場における情報入力のボトルネックを解消し、状況認識の共有、人的リソースの有効活用に寄与することを目指す。

情報の共有で防災関係者コミュニティをつなぐ



学際的な研究体制 と 産学官民の連携



情報の構造化

利用環境整備

スキーマ設計


多種多様な防災情報

防災情報DB化システム

自然言語処理

ユーザ
インタ
フェース

音声認識・画像認識

災害対応情報システム

防災情報データベース